（日刊）　明治四十年十一月三日第三種郵便物認可　朝鮮紀元四千二百四十一年二月八日

京城新報

●新聞紙代　一ヶ月金壹圓　●郵稅一ヶ月金拾錢　●廣告料　▲一段二圓　▲一ヶ月金壹圓　▲六ヶ月金貳圓　▲五號活字十九字詰一行金三十錢　▲四號活字一倍四字詰一行金四十錢
●陰曆　一月七日
發行編輯兼印刷人　京城西門通　山下英一郎
發行所　京城新報社　電話六六

新疆旅行記（續）

此地に於て土耳古人と支那人との人口の比例に關して信用すべき報告を得ること困難なり、官吏は支那人の多數なることを主張すれども、訪ひたる場所は支那人を以て充たさるもと雖はるも、余は寧ろ中國人よりも土耳古人の方却て多きを見たり、支那移住民は新疆方に散在し、都會に住するものは比較的少數なり、然れども特別の節、例へば祭礼なるの場合には方々より、甚しきは數日の旅路を費しなぞして都會に集まるなり、新疆にて生れたる人々は吾等に對する行爲頗る厳過なれども、最近に支那本部より移住せるものは、其本國に於けるよりも遙に無禮なるが如し、この禮讃を缺き粗野なる言辞を使用するは、余が濱州に在りし時は支那人一般の風なりしが、思ふに是れ北廿度以上に戈壁砂漠に於ては四圍の風物の粗野なるに依るか、若しくは多數の流罪人及不與を受けたる官吏に對して叩頭なる言行に出でざるに及ばずとするに依るか、定かならず。

龍遊より小商人は白李を滿載せる籠を以て吐魯蕃より到來し居りしが、この李は本國のものと等しき味を有し、一個につき二赤錢にて普通の四文にて賣り居るも、やがて尚安くなるべし、葡萄も亦間近く吐魯蕃より到着すべき筈なり、吐魯蕃には葡萄の出來ること夥しく、一車一雨か其以下にて購はれ得る程なり、吾等の知友の一人なる羅馬「カソリック」教の「ポール」君は、本年この葡萄にて葡萄酒を造る考なり、この人は時計製造人なるが、露西亞の革命騒にて其注文せる時計は一向に到着せざるを以て其本職に就くこと能はざるなり。

六月十四日、余は此地に殖民せる一波斯人に會へり、彼は美髯飄飄、風采堂々として亞細亞人よりも寧ろ外國人に類せり、余は彼に亞剌比亞語にて記せる格言集の一冊を呈せしに、彼は群集せる土耳古人等に向て弊高く讀み上げたり、彼はこの書を求め尚他に亞剌比亞語の書なきかを尋ね、余と共に吾等の寓居に來れり「ハンター」氏は以前より彼を知れる由にて、彼は回々教徒の中にありて甚だ勢力を有する人にて、又最も博學なる人の一人なることを語れり、この人は大なる羊群を所有し、富裕の生活を送れり。

六月二十七日には「ウ、ユエー」祭（聞船祭）ありき、祭の行はるゝ場處は市外五里許なる岩丘の麓にして、丘頂には高塔及一寺院立てり、人々は市より車に乘りて此に赴くに村落を爲し農耕を營み居住の人々も漸次増殖するに至れり然るに光緒七年に至り清國は初めて揮春に招懸局なる官衙を設け陳某を以て總辨となし外に委員七名を置き以て南滿洲及び本部諸地方人民の移民を奬勵し專ら闢墾拓植の經營に力めたり然るに此時には未だ間島に着目せず光緒十二年に至り間島が土地豐饒にして物産の豐富なるを知るに及び招墾局の支局を局子街に設置し委員中の一人たる程定弟を以て支局長とし支那人の移住者を奬勵し種々の便宜を供し先住者たる朝鮮人を壓制したれば支那人の移住する者年を追て增加し現今間島に居住せる支那人の多くは實に程が奬勵の結果なりと云ふ併し間島は境界石碑に據るも朝鮮の領土にして且事實朝鮮人が久しき以前より居住せし實跡に徴するも確かに朝鮮の領土と認むべく朝鮮政府も亦從來久しく然か考へ來りたる者なるを以て局子街に清國招墾局支局なる官衙設置され居たせる朝鮮人が甚だしく迫害を被ること至り是處に端なく兩國間に於ける所謂間島問題の起れるを見たり、南國境界の碑面に明刻せる土門江の研究問題を生ずるに至れるなりされども日清戰爭以前に於ける朝鮮は恰も清國の附屬に等しく事大小となく如きも亦積極的に之を爭ふ能はず僅に一二回交渉して其の境界を明かにせんことを請ふ回答に延言應を設きて吉林將軍の管轄に屬せしめ同知官を派遣し行政財政及司法を統轄せしめ又た統領胡殿事をして二營の兵を率ひて該地方に駐在せしめ以て間島をしてたる清國の領土たらしめんとするに至れり。

間島問題に就て（上）

間島問題の由來　豆滿江上流地方に當れる支那朝鮮の國境は古來明かならず兩國歷代の朝廷亦之を化外に置きて深く其の所屬を爭はざりしも朝鮮人は已に久しき以前より該地方に移住し村落を造り城池を築き現今の揮春城の如き亦朝鮮人の經營せし所に起り大明を亡し新興の威勢を以て四方を經略するに及び漸く北滿朝鮮接壤の地區に着目するに至れり是に於てか康熙五十年清韓兩國の地域を明にせんことを提議し五十一年双方委員を派遣して山河自然の形勢に察し地利の如何を踏査したる後土門江を以て兩國の境界と爲すに決し此處に初めて彼の有名なる境界の石碑を樹て以て兩國領土の分域を明にしたり土門江は土門江と會流する豆滿江上流の支流にして土門江と會流する處には土門江の岸に沿ふ數里に亘る土壁あり洪水氾濫の患に備ふが爲にして今尚之を現存し所々門戸を設るを以て土人稱して土門と爲すは是れ土門江の稱ある所以にして其の上流亦た土門子村あり故に土門江と土們江とは確然たる區別あり石碑の稱して土們江と明記する所以は即ち土們に依るべくして土們に附會する可からざるや明かなり康熙五十二年清朝は初めて揮春及寧古塔の二地に官吏を派して該地方の經營に任せしめしも實際に於ては未だ何等施設の實績を示さざりき爾來數百年清朝は間島地方を以て全く化外に放置し朝鮮人獨り各處居る者なるが實下等に話す可き事とては近頃に至りて彼の痛嘆す可き日（戰時）の後の政權の弛緩動搖は確かに恢復せられたるに相違なし我が國家的生存の最重要の要素なる農民は政府が被等の眞の要求を迎へて其の士地私有を多からしめ其の生産を増殖せしめて彼等の生活狀態を改良せしむるの信念を失はざるなり我等の居る僻遠の村落農民は所謂革命思想などには甚だしく遠離し居れり彼等は何より第一に各自の生活狀態を善良ならしめん事を欲せり要するに彼等は各自の物質的の要求に滿足を得んとするに過ぎず若し我が政府にして農民の物質的狀態を善良ならしめば人民は忽ち全く安靜に歸するに相違なし然し此の農民の問題と共に地方官の意義を强ひる事は現今の急務なり

此の問題は大に將軍の趣味を感じ居る所なり

記者曰く然し此の邊境地方にも革命運動のありし際に隨分驕ぶりしき事ありしに非ずや

將軍曰く中央亞細亞地方の騷動は其の地方の人民の移住し來れる者の仕業なり故に革命騒ぎは忽ち鎮定せられて地方人民の間には更に其の根底を得る能はざりき

貴下は軍隊の革命運動の事を言はれたるか

余は露國の士官、兵卒の如何を識れる既に久し又此の革命騒ぎの際にも彼等の行動を觀察する事を怠らざりき

露西亞内地の最近の出來や日露の戰爭に敗衄するも露國の士官兵卒は陛下に忠實にして献身的服從を有し居る者なる事明かなり種々の困難に遭遇しながらも軍人は其の宣誓を忠實に奉じ其の名譽を完うして困難なる境遇を脱し得たるに非ずや勿論例外の事も無きに非ざるも其は甚だ稀少なり革命運動が軍隊に入りたるは大に悲しむ可き事なるも今日までの所にては尚ほ表面に止りて其の根深からざれば若し士官の補充を至急に爲すを得ば左まで憂ふるに足らざる可し

士官は戰時平常の別なく是れ軍隊の主力なり下士卒の服役年限の短縮は士官の勤勞を大ならしめたるに稀なし士官の生活は中々繁忙なるも生活困難なり士官の生活狀態を進むる事に注意せざるは不可なり此の事に關して爲す可き經營事業一にして足らず軍隊は大元帥陛下に對して士官の俸給增額の報を感謝の意を以て迎へたり

クロパトキン將軍は更に我が露國の將來に關する談話を爲して我等の會談を終たり

將軍曰く余は曩に信せる如く今も確信す露國の偉大なる將來は其の國威の全盛、國家の統一、其の國力の發展に在るを確信せざるを得ず余は露國が遭遇したる敗戰の經驗よりして尚ほ且つ勝利者たる結果を得可きを信せざるを得ず露西亞國民は我が陛下に對して忠義なる人民なるを以て能く病患に耐へて後ち一層その身体を强健ならしむ可きを信ずるなり云々

黑鳩將軍の談（上）

舊臘二十七日のノーウオエ、ウレミヤ紙上にクロパトキン將軍の談話と題して同將軍が露國の現狀に對する談話を掲げたり即ち左の如し

余は數年クロパトキン將軍を見るの機會を得ざりしが久しく見ざる間に將軍の風貌著しく變れり將軍の顔容は多少老衰せられ髯も頭髪も半白となりしも彼の小さき眼は依然として炯々として尚ほ其の精力の盛んなるを示せり我等の談話は將軍が少なからず趣味を有し居らるゝらしき我が露國内政の事に渉れり

將軍曰く余は斯かる僻遠の村落生活を爲し居る者なるが貴下等に話す可き事とては近頃に至りて彼の痛嘆す可き日（戰時）の後の政權の弛緩動搖は確かに恢復せられたるに相違なし我が國家的生存の最重要の要素なる農民は政府が被等の眞の要求を迎へて其の士地私有を多からしめ其の生産を増殖せしめて彼等の生活狀態を改良せしむるの信念を失はざるなり我等の居る僻遠の村落農民は所謂革命思想などには甚だしく遠離し居れり彼等は何より第一に各自の生活狀態を善良ならしめん事を欲せり要するに彼等は各自の物質的の要求に滿足を得んとするに過ぎず若し我が政府にして農民の物質的狀態を善良ならしめば人民は忽ち全く安靜に歸するに相違なし然し此の農民の問題と共に地方官の意義を强ひる事は現今の急務なり

此の問題は大に將軍の趣味を感じ居る所なり

貴君は現今の我が國會に對する余の意見を質されたるが余は此の問題に對しては唯だ一個人として新聞に依りて事件を識り一個人の見地より觀察する普通の觀測者の言として述ぶ可き余は第一議會にも出席し現時の議會には二回傍聽せり第三議會は余に快感を與へたりと言ふを憚からず余の多數は眞面目なる勤勞を欲し溫和派の議員中には兩極端に傾く形勢なきもの議員は各方面より選出せらるゝ事なれば其の國想意見も種々樣々なる可きも兎に角に農民の生活狀態を改善して今より多少安全なる生活を得せしむる事は現今の急務なり

將軍の趣味を感じ居る所なる問題に就て議會は漸く組織を完成して結果の見るべき事業を進むる事に注意せざるは不可なり此の事に關して爲す可き經營事業一にして足らず軍隊は大元帥陛下に對して士官の俸給增額の報を感謝の意を以て迎へたり

クロパトキン將軍は更に我が露國の將來に關する談話を爲して我等の會談を終たり

將軍曰く余は曩に信せる如く今も確信す露國の偉大なる將來は其の國威の全盛、國家の統一、其の國力の發展に在るを確信せざるを得ず余は露國が遭遇したる敗戰の經驗よりして尚ほ且つ勝利者たる結果を得可きを信せざるを得ず露西亞國民は我が陛下に對して忠義なる人民なるを以て能く病患に耐へて後ち一層その身体を强健ならしむ

記者曰く然し此の邊境地方にも革命運動のありし際に隨分驕ぶりしき事ありしに非ずや

將軍曰く中央亞細亞地方の騷動は其の地方の人民の移住し來れる者の仕業なり故に革命騒ぎは忽ち鎮定せられて地方人民の間には更に其の根底を得る能はざりき

貴下は軍隊の革命運動の事を言はれたるか

余は露國の士官、兵卒の如何を識れる既に久し又此の革命騒ぎの際にも彼等の行動を觀察する事を怠らざりき

露西亞内地の最近の出來や日露の戰爭に敗衄するも露國の士官兵卒は陛下に忠實にして献身的服從を有し居る者なる事明かなり種々の困難に遭遇しながらも軍人は其の宣誓を忠實に奉じ其の名譽を完うして困難なる境遇を脱し得たるに非ずや勿論例外の事も無きに非ざるも其は甚だ稀少なり革命運動が軍隊に入りたるは大に悲しむ可き事なるも今日までの所にては尚ほ表面に止りて其の根深からざれば若し士官の補充を至急に爲すを得ば左まで憂ふるに足らざる可し

士官は戰時平常の別なく是れ軍隊の主力なり下士卒の服役年限の短縮は士官の勤勞を大ならしめたるに稀なし士官の生活は中々繁忙なるも生活困難なり士官の生活狀態を進むる事に注意せざるは不可なり此の事に關して爲す可き經營事業一にして足らず軍隊は大元帥陛下に對して士官の俸給增額の報を感謝の意を以て迎へたり

クロパトキン將軍は更に我が露國の將來に關する談話を爲して我等の會談を終たり

將軍曰く余は曩に信せる如く今も確信す露國の偉大なる將來は其の國威の全盛、國家の統一、其の國力の發展に在るを確信せざるを得ず余は露國が遭遇したる敗戰の經驗よりして尚ほ且つ勝利者たる結果を得可きを信せざるを得ず露西亞國民は我が陛下に對して忠義なる人民なるを以て能く病患に耐へて後ち一層その身体を强健ならしむ

仁川貿易（三）

十二月中の

（三）白木綿　本品は總して需用少く當港に於ては賣行僅少なれば金巾類の賣行以上の如しとせば本品の賣行一層不況なりしこと想像するに足るべし隨て相場も變動なし

	最高	最低	平均
細地別上	二,000	二,000	二,000
同上	一,850	一,800	一,850
中細地上	一,750	一,750	一,750
同下	一,800	一,800	一,800
太地上	一,100	一,100	一,100
同中	一,100	一,100	一,100
同下	一,100	一,100	一,100

本月は本品の賣行最も好況なるの時季なれば市中一般に相應の賣行あり殊に歳暮の進物用として多少の賣行あり各地方よりの注文相應入込み他品の不景氣なるに關せず相替らず好況を見たり歳暮進物用として需用せらるゝは官煙口付及び洋煙料でも何でも拵つて上げますが、たゞ金子が無いから爲方がありません、と好加減な返答して、それからは碌々相手にもなりませんでした。

これは貴方が熱のために浮されて居なさる時ですから、貴方は御存じないでございませう、那樣に薄情な事を言つたり爲たりして居りながら、少し熱も退き、たゝ口も利けるやうになると、打て變つたはと親切らしく爲て、自分等夫婦が介抱したやうな事を云ふのでせう、ですから私は腹が立つやら馬鹿々々しいやら、暇を取つて行く時には、スカツリ貴方にに話爲て行かうと、それを樂にして居つたのですが、いよ〳〵モウ我慢が能なくて、今日限り歸つて行く事になりましたからそれでに話申すんでございます、惡い事をお勸め申しは致しません斯麼下宿にに居でなさると、大病でも煩うた時は有る生命でも無くして了ひます。一日も早く御病氣が全快なすつたら、他へお轉宿なさるが宜しうございます。」

と、赤眼を面に表はして話つた。山田は悲憤の涙を拂ひもあへず、

紘のみだれ（六十七）

永井櫻園

お松は尚も繁々を繼いて、

「すると、夫婦の言草が酷いぢやありませんか、今日死ぬか明日死ぬか、分りも爲ない病人に、那樣親切を盡したつて、死んで了へばお前の親切は水の泡になつて本人も知らないで死んで了うんだよ、それでも親切を盡すと云ふのかね）と、斯う云ふのでせうだから、私これぱかりの、蟠金ですものの本人に知れやうと、知れまいと、私は御恩返した意ですから、氣地が宜しうございます、と云つて、潮と藥を買つたり氷を買つたりして、用足をした合間々々に介抱したのです。」

山山も渭之助も、お松の話を聞いて其の親切に泣かずには居られなかつた、お松は如何にも殘念さうに、

「まだ其上に、山田さんは幸運者だ、お前のやうな親切者が附てるから、序に今月分の下宿料も拵つて上げて下れると宜いに）どうでせう、斯麼事云ふのですよ、大抵考へて見ても分りさうなものぢやありませんか、私のやうなものを、山田さんがお相手になさる方が方でないか、腹も立たないで家さへあれば、直にも轉宿爲やうと思つて居た所だ、其話を聞いては猶重の事、一時も居りたく無いから、早速家を探して移る事にする轉宿したら是非遊に來て下れ。

「私は、眞摯熱のため人事不省であつたから、お前さんが那樣親切を盡して下さつたとは、夢にも知らず、此家の夫婦が心を惱めた看病で、これまでに快くなつたとばかり思つて、此の恩は一生忘れないさまでお禮を言つて置いた、實に怪しからん奴だ。私も不思議に思ふは思つたのだあれほど平常剛慾な夫婦が、能くも親切に看護して下すや

將軍曰く然り安靜になりたるを認めゝといふに過ぎず國家改革の際の各地方は各種の變動を經ざるを得ざるも當然なる可し

記者曰く政府反對運動には異民族（波蘭猶太民等）の力大に與りて力あるもの此の異種民族問題の解決に對する將軍の意見を聞くを得ざりき

將軍曰く余は中央亞細亞の此の邊境に居住せり中央亞細亞の土民は我等に心服し忠順にして何等政府に反對するが如き形勢あるを認めざるなり露國人にて中亞細亞の爲めに働きたる人少なからざるが彼等は皆な之を聽きして記憶せり

仁川たより

▲港灣浚渫の請願　韓國陸上の交通は遂年完備の域に向ひつゝあるに不拘海陸交通に伴ふ港灣の設備は未だ何等の見るべきものなきは吾人の遺憾に堪ゑざる所なり特に仁川の如きは韓國貿易港中其第一位を占むるにも不拘其港灣の不完全なる又他に多く比を見ざる所なり、斯の如きは獨り仁川市の繁榮上大なる支障たるに止まらず進んで我對韓貿易上に及ぼす惡影響は蓋し大ならずとせず、然るに仁川居留民中有志の士は見る所ありて最に鎮港期成會なるものを組織し之れに關する種々の調査をなし且つ相當の運動をも試みたるも昨今に至り同會の消息は吾人として看沙汰なく目賀田顧問の談話のそれの如く何時しか夢物語と消ゑ失せたり、然る所數日前の當商業會議所委員會に於て港灣浚渫に關する請願を其筋に提出する事に決したる由、吾人は今更其請願に關する功能書を吹聴する事をなさず只彼の夢物語の前徹を踏ざらん事を希ふのみ

▲市況不振の極　政界の紛擾は延いて經濟界に影響を及ぼし本邦各銀行の如きは非常なる警戒を加へつゝありしが其結果韓國各支店に向け政界紛擾の落着する迄或一定の期間内は營業資金は絶對に貸出しを禁ずるの方針を執るべき旨内命ありたるやに傳へらる、それかあらぬか韓國各支店に於ては近時貨出しを渋り專心邁敢にのみ吸々として警戒に怠りなき狀態は何人も知る所の如し其結果一般金融界は不時打擊を蒙むり各港とも殆んど商取引中止の姿に陥れるると云ふも過言にあらざるべし而して此れが尤も甚だしき打擊を受けたるは釜山港にして同港の如きは昨今一二有力者の倒産を氣支ふるものさへあるに至れりと云ふ

▲仁川病院廢止論　仁川病院昨年經費費額は一萬五千六百餘圓にして決算の結果四千五百餘圓の不足を生じ爲めに再昨日の民會に於て其補給案を議したるが其結果現今財政に餘裕なき民團は止むなく民團債を起して其補給の道を講ずるに決したりと、然るに同病院は民團法施行以前に於ては現時の松村院長の受負經營に任じありしが當時は年々幾何かの餘剰を見つゝありしに不拘如何に藏設備に改善を加へたればとて其經營は餘程に上り剰へ一年四千五百圓餘の缺損を生ずるが如きは現時仁川民團の財政としては其維持困難なるべく旁々昨今同病院に對する批難の聲囂しく日市民の信用を失墜しつゝあるが如き狀態なるを以て或一部の居留民中同病院の所在を不必要とし廢止論を唱導しつゝあるものあり（六日記）

統監府の手落か

●統監大磯行　右谷秘書官よりの來電によれば伊藤統監は一昨日同秘書官を隨へ大磯に赴かれ廿三日迄滞在の筈なりと云ふ

●皇帝皇后の感謝　一昨六日曾禰副統監參内謁見の際皇帝皇后は東京に於て韓太子の御優遇に對し非常に御喜悦遊ばされ感謝の意を表されたりと云ふ

●紀元節祝宴　來る十一日は紀元節に付曾禰副統監は統監府官邸に於て同日午後六時より祝宴を開かるべしといふ

●仁川清國領事の宴會　仁川港清國領事廉恩相氏は一昨日午後六時半より同館にて新年宴會を開催し内外紳士を招待せりと云ふ

東洋火災保險會社發起人の擧頭秋田毅氏に對し當地の某大銀行は同氏所有の家屋土地其他の財産を擔保として昨年來多額の貸金を爲し居るとのことなるが此頃右擔保物の時價に變動を來したるを以て銀行は秋田氏に向て追加擔保を要求せしに秋田氏は如何なる都合なるか之に應せざるを以て甚だ迷惑を感じ居れりと云ふ、さるにても統監府は東洋火災の營業を認可する以前に於て認可規定に基き出願人たる秋田氏の財産調査を遂げたりや否

韓國中央銀行

目下東上中の荒井度支部次官は韓國中央銀行設立に關し具体的案を携へ伊藤統監に齎議したりと云ふ

漁業法案の發布

農商工部にては今回漁業法案を發布する筈にて目下起草中の由なるが之が實施に關して困難を感するに漁區の大部分が宮内府の所管に屬せざる事にて其の多くは從前より同府所管に屬せざるものまでも經理派員が勝手に同府所管に歸せしものあり之等に對しては舊慣を調査し宮内府と交渉の上法令發布の實効を擧ぐるの方法を執る可しと云ふ

未墾地利用許可に就て

國有未墾地利用法發布せられてより既に半年此の間に貸下げを出願したる者四百名の多きに達するも今日迄一人の許可せられたる者なき有樣なるが當局者の語る處によれば之が許可可に關しては三箇の障害あるものゝ如し第一は未墾地の大部分が宮内府の所管に屬する事にして第二は未墾地の多くは附近韓民の燃料採取場として入會權を有せる如き狀態に存する事なり即ち現に出願せる四百餘の未墾地の中調査濟のもの七十餘あるも此の中純然たる國有にして韓民の入會權類似の狀態に非ざる者は二三箇所に過ぎず第三は出願者に農事經營の資力缺乏したる事即ち資格を有せざる事にして出願者中には自ら經營に當るの決心なき唯だ單に權利を獲得して他人に讓渡し或は資本家を說くの材料に供し以て其の間に利を占めんとせし者ある如く甚しきに至りては現に韓人が採取しつゝある燃料を目的として出願せる者あり而して第一の障害に關しては宮内府に交渉したる上開議を經て假令所管は宮内府となるも此の法令に從ひて利用する事となし第二の障害に對しては出願者が附近韓民と交渉の上一定額の金員に て入會權を買收すれば格別農商工部に於て韓民の既得權を無視して許可すが如き處置を取らざる方針なり第三の出願者の資格に關しては既に礦山の許可を受けたる者數百件あるに拘らず多くは權利のみを得て實質を有せざる者にては悉皆譲渡する筈にて四月初旬之を頒布する由なりと

●中樞院副贊議俸給拒絶　中樞院にては同院副贊議俸給を度支部に向ひ支出方を請求せしに同部に於ては改正官制の官等表中俸給額記載なきを以て之が追加せらるゝまでは支出すべからずと之を拒絶したりと

●度支大臣の訓令　度支部大臣高永喜氏は財務署定員中日韓人間言語不同の爲め行違ひを生じ之が爲め事務の阻碍を來すとも計り難きを以て此點に注意すべき訓令を發したりと

●韓國普通學校の位置と職員　本年度に於て新設せらるゝ可き學部所管普通學校の位置に就ては目下詮議中にして其職員は校長は韓人を任命し教官として日本人を採用する筈にて各府縣師範學校卒業生中より人選中なり尚開島在住韓民より普通學校設立方を請願し來りしを以て學部は右新設學校の内一校を同地に開設するの意見あり是亦研究中なりと云ふ

●仁川會議所の陳情　仁川商業會議所にては去る三日の決議に基き茶倉建設の件に關し鐵道管理局長官大屋樣平氏宛に陳情書を提出せり

ハリス博士の一公一伯（太陽所載）

一、大隈伯は三人中にて最近世式の政治家

●李總理の招宴　總理大臣李完用氏は明後日午後六時より自邸に各國公使を招待して宴を張る由なるが當日は總理大臣代理として内閣書記官長柳瀬氏出席の筈なり

●宮内大臣の任　宮内大臣李址用氏は明後日午後六時より自邸に各國公使を招待して宴を張る由なるが當日は總理大臣代理として内閣書記官長柳瀬氏出席の筈なり

●高崎男の叙勲　統監府囑託男爵高崎安太郎氏は昨日午後青坡病院に至り傳染病患者の狀態を視察したり

●遠藤仁川局長の上京　遠藤仁川郵便局長は昨日午後青坡病院に至り傳染病患者の狀態を視察したり

●藤谷民團長の上京　藤谷民團長は昨日午後青坡病院に至り傳染病患者の狀態を視察したり

●宮内大臣の上京　宮内大臣李址用氏は昨日午後青坡病院に至り傳染病患者の狀態を視察したり

●李總理の招宴　總理大臣李完用氏は明後日午後六時より自邸に各國公使を招待して宴を張る由なるが當日は總理大臣代理として内閣書記官長柳瀬氏出席の筈なり

●高崎男の叙勲　統監府囑託男爵高崎安太郎氏は昨日午後青坡病院に至り傳染病患者の狀態を視察したり

韓國皇帝皇后の感謝

●皇帝皇后の感謝　一昨六日曾禰副統監參内謁見の際皇帝皇后は東京に於て韓太子の御優遇に對し非常に御喜悦遊ばされ感謝の意を表されたりと云ふ

●紀元節祝宴　來る十一日は紀元節に付曾禰副統監は統監府官邸に於て同日午後六時より祝宴を開かるべしといふ

●仁川清國領事の宴會　仁川港清國領事廉恩相氏は一昨日午後六時半より同館にて新年宴會を開催し内外紳士を招待せりと云ふ

●統監大磯行　右谷秘書官よりの來電によれば伊藤統監は一昨日同秘書官を隨へ大磯に赴かれ廿三日迄滞在の筈なりと云ふ

韓國中央銀行

目下東上中の荒井度支部次官は韓國中央銀行設立に關し具体的案を携へ伊藤統監に齎議したりと云ふ

漁業法案の發布

農商工部にては今回漁業法案を發布する筈にて目下起草中の由なるが之が實施に關して困難を感するに漁區の大部分が宮内府の所管に屬せざる事にて其の多くは從前より同府所管に屬せざるものまでも經理派員が勝手に同府所管に歸せしものあり之等に對しては舊慣を調査し宮内府と交渉の上法令發布の實効を擧ぐるの方法を執る可しと云ふ

未墾地利用許可に就て

國有未墾地利用法發布せられてより既に半年此の間に貸下げを出願したる者四百名の多きに達するも今日迄一人の許可せられたる者なき有樣なるが當局者の語る處によれば之が許可可に關しては三箇の障害あるものゝ如し第一は未墾地の大部分が宮内府の所管に屬する事にして第二は未墾地の多くは附近韓民の燃料採取場として入會權を有せる如き狀態に存する事なり即ち現に出願せる四百餘の未墾地の中調査濟のもの七十餘あるも此の中純然たる國有にして韓民の入會權類似の狀態に非ざる者は二三箇所に過ぎず第三は出願者に農事經營の資力缺乏したる事即ち資格を有せざる事にして出願者中には自ら經營に當るの決心なき唯だ單に權利を獲得して他人に讓渡し或は資本家を說くの材料に供し以て其の間に利を占めんとせし者ある如く甚しきに至りては現に韓人が採取しつゝある燃料を目的として出願せる者あり而して第一の障害に關しては宮内府に交渉したる上開議を經て假令所管は宮内府となるも此の法令に從ひて利用する事となし第二の障害に對しては出願者が附近韓民と交渉の上一定額の金員にて入會權を買收すれば格別農商工部に於て韓民の既得權を無視して許可すが如き處置を取らざる方針なり第三の出願者の資格に關しては既に礦山の許可を受けたる者數百件あるに拘らず多くは權利のみを得て實質を有せざる者にては悉皆譲渡する筈にて四月初旬之を頒布する由なりと

●中樞院副贊議俸給拒絶　中樞院にては同院副贊議俸給を度支部に向ひ支出方を請求せしに同部に於ては改正官制の官等表中俸給額記載なきを以て之が追加せらるゝまでは支出すべからずと之を拒絶したりと

●度支大臣の訓令　度支部大臣高永喜氏は財務署定員中日韓人間言語不同の爲め行違ひを生じ之が爲め事務の阻碍を來すとも計り難きを以て此點に注意すべき訓令を發したりと

●韓國普通學校の位置と職員　本年度に於て新設せらるゝ可き學部所管普通學校の位置に就ては目下詮議中にして其職員は校長は韓人を任命し教官として日本人を採用する筈にて各府縣師範學校卒業生中より人選中なり尚開島在住韓民より普通學校設立方を請願し來りしを以て學部は右新設學校の内一校を同地に開設するの意見あり是亦研究中なりと云ふ

●仁川會議所の陳情　仁川商業會議所にては去る三日の決議に基き茶倉建設の件に關し鐵道管理局長官大屋樣平氏宛に陳情書を提出せり

ハリス博士の一公一伯（太陽所載）

一、大隈伯は三人中にて最近世式の政治家

●遠藤仁川局長の上京　遠藤仁川郵便局長は昨日午後青坡病院に至り傳染病患者の狀態を視察したり

●藤谷民團長の上京　藤谷民團長は昨日午後青坡病院に至り傳染病患者の狀態を視察したり

鶴原氏と森林經營

●鶴原氏と森林經營　鶴原氏は昨日の朝の汽車にて歸京せられたるが氏は森林經營の方針を說明せしが遠からずして森林經營の見解を達すべき筈を逸べたり（七日發）

英艦隊の廻航

▲英艦隊の廻航　英國第四巡洋艦隊は五月末太平洋に向け出港す其理由は不明なり（七日發）

港灣浚渫の請願

▲港灣浚渫の請願　韓國陸上の交通は遂年完備の域に向ひつゝあるに不拘海陸交通に伴ふ港灣の設備は未だ何等の見るべきものなきは吾人の遺憾に堪ゑざる所なり特に仁川の如きは韓國貿易港中其第一位を占むるにも不拘其港灣の不完全なる又他に多く比を見ざる所なり、斯の如きは獨り仁川市の繁榮上大なる支障たるに止まらず進んで我對韓貿易上に及ぼす惡影響は蓋し大ならずとせず、然るに仁川居留民中有志の士は見る所ありて最に鎮港期成會なるものを組織し之れに關する種々の調査をなし且つ相當の運動をも試みたるも昨今に至り同會の消息は吾人として看沙汰なく目賀田顧問の談話のそれの如く何時しか夢物語と消ゑ失せたり、然る所數日前の當商業會議所委員會に於て港灣浚渫に關する請願を其筋に提出する事に決したる由、吾人は今更其請願に關する功能書を吹聴する事をなさず只彼の夢物語の前徹を踏ざらん事を希ふのみ

香地電報

●慕徒の歸順交渉　甲山郡内に出没せし暴徒車東善以下二百三十二名は歸順の交渉を開始せり（六日午後成興發）

雜報

京畿東部の賊情

一月三十一日砥平駐在所の報告に依れば出島租借地領内に急速道路設の必要なる旨を通牒せり

（三）一千八百九十九年二月二十二日の西比利亞鐵道委員會に於てクロパトキン將軍は特別委員の選定に商港築港の議に對しても一言の反對を爲さゞりき

（四）陸軍省より大藏大臣に對して近傍に商港を設くる爲めに旅順の防禦上危險なりとの言明を爲さゞりき又陸軍大臣が一千九百三年に極東歸還後に提出せる同大臣の最重要なる報告にも斯の如き反對意見を記せざりき

之を要するにウイッテ伯の寄書の一般感想に依れば陸軍大臣は自ら大連市並に同港の建設に關係し同港建設問題は西比利亞委員會に於て凝議せられ且つ戰爭の始るまで大連市並に同港の軍事關係上不利なる事は言明せられざりしといふに在り實際の事實は以上記する所のウイッテ伯の說と大に反せる者あり此の問題は甚だ重要なる問題なるも前記の諸點に就きて成る可く簡略に辨明する所あらんとす

軍隊の暴徒討伐狀況

一月廿六日殷栗郡南上面鳳岩村に賊徒出没の情報により憲兵伍長以下四名は出發二十九日歸所其報告に依れば二十六日午後四時鳳岩村に着察を遂げ賊徒一名を逮捕す尚同面林桂洞南方高地に暴徒二十餘名集合しある情報により直ちに同地に至り之に迫り交戰十五分にして暴徒一名を殪し銃一挺を鹵獲す賊の一部は文化方面に其多くは豐川郡方面に退却するを以て直ちに追擊を行ひ殷栗郡南下面上院里に至るや午後八時に至り暗夜踪跡を失す同夜偵察の結果暴徒は豐川郡石灘塲方面に集合し居るを探知し翌二十七日同地に向ふ途中殷栗郡西下面に至り聞くに同郡同面朴村鄭基煥は段栗豐川地の暴徒の頭にして同村張基銘と二名にして多數の暴徒を集合し居るを探知し偵察の結果鄭基煥及他一名は昨夜來我一行の追擊を受け今朝良民に裝ひ冠山市場に至りたる形跡あり尚暴徒は今朝豐川郡石灘塲に集合あるの情報により鄭基煥は新造綿綢長襦基煥なるの者に逮捕を命し憲兵の一行は石灘塲に向ふ午後四時三十分殷栗郡栗面雲城に於て賊徒約五十名は同村南方の松林より我射撃を猛射す交戰四十分にて賊四挺を鹵獲す爾后退す此際六名を殪し銃四挺を鹵獲す爾后退す此際六名を殪し銃四挺を鹵獲す爾后退す此際六名を殪し銃

▲鶴原氏と森林經營

（七日發）

森林經營の目的を達べたり

秋月菊の傳 其九

紫生

意外に早き市作の折れ方に並木は内心半信半疑、果して彼れが其言葉通り其非を悟り過を悔ひ改むる心にして尚ほ己れが苛酷なる女房の後世を願ふ爲めに懺悔本氏の言葉に感ひ一手間の支出をばなすべき心あるべきか當坐の道理に責められて言ひ爭ふは不利益との胸算より割り出して陽にのみ殊勝らしき風を装ひ居るにてはなきか今日迄の彼れの所行から押測れば今の悔悟も却ゝ意の底より湧き出でたるものとはサラ〳〵思はれず覺束なき限りなりと思へども之れを確むる爲め術とてもなきのみならず死人を控へて兎や角と問ひ訊ぬるも面白からずと心に秘め、先づ左樣極れば話は落着なれば此れから後は非送の仕度やら御相談やらが肝要なれと所うした事は男より女の方が何やら彼やら萬事都合の宜いもの故一先づ歸つて宅の妻に下女の一人も添はず同樣下女同樣遠慮はない故使つて被下、と云つた處で此の私は決して此のまゝ遁げる氣ぢやない宿屋稼業に此の一時が最も肝要の日暮時なれば一寸私の宅の方を眺張つて居ねば心配故一時失禮致す迄用濟み次第直ぐに又願まれ御世話をやきに來ますと世話に碎けて立ち上る其尾を機會と橋本氏も他にも用事のある身なれば此れに御免何分とも注文だけは少々無理かは知らねども何にも他人の爲めでなし、確とた覺悟下されよ診斷書の儀は少時して韓人をでも本當になされ馴染も薄い福田さんに飛んだ失禮致しましたと等しく其坐を立ち上るを居醜るが如く市作は送り出して稍々暫し後袁見送りしが襲てのことチョッと舌打ち諸共に立ち上りしが前面桃背見廻し見廻し薄暗がりに物凄き笑を片頬に滿へ炎ゆるかと見ゆる紅の舌をぺきたる折もあれ後背に當りてサラリと開きし襖の音、コレはと驚く市作の袂に縋つきたりしは是れなん先刻市作が伴ひ返りし怪しの女、今は亡き妻某が臨終の際迄心に懸けしとみと呼ばるゝ女なるが、市作の親怨めしげに見上げて、市作殿イカなる事のあるかは知らねど並木とやら云ふ痩せ男やら橋本とやら呼ぶ藪醫者の云ふ言々アレ程迄に聞かねばならぬ事があつてか橋本とやら云ふ奴は假令殺でも殆でも醫者ヂャと云へば此の場合腹立たしせては不都合なれど大枚一千圓の正金を何ぞ斯うせよとは餘計な差圖夫れも食君が應諾しとされた引き受けなさつた御了見が何ら考へても勝に落ちぬ況して並木に至つては如何に惡意の中とは云へ元々他人の彼奴等に彼の樣に云はるゝ譯けが何處にあります、貴君が自身の女房を足蹴に仕ようが撲り殺さうが是れやとれ自由の權利とやらで彼れ等の知つたことではあるまい、何故に貴郎は彼の時に夫れと一本檜の込んでた遣りなされはせなんだが、尤も永年連れ添ふ女房のこと故に並木とやらの言葉により不憫がまして過日中妾にせられた約束は眞實反古にして終ふゝにズントならしやつたかと詰めし寄る女の氣色にかへ、斗を冷やかに見下し立ちたる儘に市作は何にも云ふな誰れが何んと云はうとも貴樣は已れの女房ちや、へへゝゝ仕事は流々己等の此處にと吾手に呑腸をトンと叩きて顔見合せ互ひにニタリと氣味惡き笑をぞ浮べて居たりける

鐵道運輸部の出火

一昨夜六時半頃南大門驛前統監府鐵道管理局運輸課主記室第三室より出火し見る〳〵其の損害高は約三萬圓にて其の半は過月我が東宮殿下御渡韓の際献上せんとして保存せし貴重品なりとか因に居留地消防夫の盡力は目醒ましきものなりと何れ詳細は明日報道すべし

●一月の氣候

當地觀測所に於て實測したる本年一月の氣候と昨年及平年一月のものとを對照すれば左の如し

	本年	昨年	平年
平均氣溫（華氏）	三六、二	三八、一	三五、三
平均最高氣溫（同）	三九、二	四二、八	四四、六
平均最低氣溫（同）	三四、一	三五、九	三五、九
高極氣溫（同）	起日 十二日	起日 五日	起日 十九日
低極氣溫（同）	八、三	零度以下	三十年 十九日
	二、一	〇、四	二、五

晴天日數 二十二日 十一日 三十年 十九日

曇天日數 三九 三六 三五

雨天日數 九 八 六

雪天日數 五 六 三

雨雪量（吋） 九、七 五、五 二、四

本表に依れば去月は昨年及び平年に比して低溫なりき又天氣は昨年及平年に比すれば稍不良にして曇天、雨天、雪天とも昨年及平年より多く殊に降雨雪は昨年及び平年に比すれば著しく頻繁なりしも其量に於て昨年より四割方少く昨年より七割方多かりし

●運送業者の不注意

由來韓人の性質として泥棒根性の燥んなるは今更ら云ふ迄もなき所にて彼の或る物品を荷馬車又は荷車に積載して道路を曳き行く其の後より チョンガー 又は ヨボ 等が車を曳き行く人目を盗みて其の最も嵩み易き新炭又は細々しき雜品を扱き取るは世人の屢々目睹せる處なるが近來は此の仕業殊に甚だしく當地に於ては南大門西大門の兩驛仁川にあつては仁川扭蛾の二驛及び其の他の驛々より或る荷物を荷主の許迄運搬する途中如上の災を蒙る者頻々にして貨主の迷惑一方ならざるが分けて當地は著るしく貨主の損害鮮からずといふ思ふに是れ窃取者の罪の憎むべきは勿論なりと雖も亦荷も貴重なる他人の物品を取扱ふ運送業者の大に細心注意すべき事ども

●嚴貴妃寺院に寄附す

嚴貴妃は罪滅の心にや先日京城内各寺院及地方の有名なる寺院へ三圓若は四圓宛を寄附せられたりと云ふ

●主事當直料

韓國各部にては本年度より主事の當直料は金五十錢と定めたり

●韓一銀行出張店

同銀行にては一般金融の便利を圖る爲め西署東幕に出張店を開設し十日より營業を開始すと云ふ

●石合戰

一昨六日訓練院北山の砂山に韓人二百餘名集合し盛んに石合戰を爲しつゝありしが我警吏は斯くと聞きてこれを制止すべく出張せしに韓人どもは其の影を見るや直ちに四散せり

●清韓人の掴み合ひ

胡砂吹く風は肌寒しといふよりは身を斬る如き今日此頃さすがに呑氣なる清國人は已が正月にもからんが三々五々手を携ひて彼方此方を徘徊するありさまなるが中に金中丙とぐん呼べる者一昨夜中署の鴉南屋に至り一人の婦人を捕へてしなだれかゝりしに彼れ婦人は病氣の故を以てこれを拒みしに言語も通ぜざることゝ申丙は仲々承知せず何ほも挑みかゝるより居合せたる韓人某がこれに口を添へたるに互に言語の通ぜざることゝて爰に兩者の大格闘となりしが巡邏の警吏これを取押へ宥め諭し清國人を追ひ歸したりと

●鞭を遣す

本町五丁目の骨我可也は去る六日午後一時頃南大門よりの歸途車上にありて手に持ちし鞭をいつの間にか遺失し中には重要の書類入れありしといふ

●他人の名を騙る

統監府の賄屋本島某の名を騙りて本町六丁目の山村雜貨店に至り首卷二枚を騙取し又本町七丁目の藤田下駄屋に至り下駄を騙取せし者ありて某より其筋へ届出たりしが其の惡漢は或は手飼の犬にはあらざるかといふ者あり

●ボヤ

去四日午前八時頃南洞四十九統七戸金聖弼方の温突の烟り出しより出火せしが幸に早く消し止め大事に至らざりし

●商業界一カ號

東京同文館發行に係る商業界二月號は本月一日發行したり口繪には歐米の商店會社倶樂部等の内部及び外觀の寫眞及歐米雜誌に現はれたる諷刺畫等の面白き記事等は何れも商業家の指針ならざるはなく殊に趣味湧くが如く讀んで卷の終るを忘れざる感あり正價十五錢本町二丁目韓書房に賣捌けり

●李總理の招宴

總理大臣李完用氏は明九日各部大臣次官及其他顧問官を宴禮院に招きて宴を張る由なるが當日は餘興として純粹なる韓國古樂を奏演する筈なり

●宮内大臣署理解任

宮内大臣李允用氏は韓廷より昨年十二月二日付を以て勅任の二等八卦章を下賜されしも其後韓國の官を辭禮院卿閔丙奇氏之を代理し居りしが此程歸韓せしに依て本日解任の發表ありたり

●高崎男の叙勳

統監府囑托男爵高崎安太郎氏は韓廷より昨年十二月二日付を以て勅任の二等八卦章を下賜されしも其後韓國の官を辭禮院卿閔丙奇氏之を代理し居りしが此程歸韓せしに依て本日解任の發表ありたり

●遠藤仁川局長の上京

遠藤仁川郵便局長は本月十日上京する筈なり

●大草分隊長本部訪問

大草分隊長は能谷民團長と共に昨朝本部に向て出發せられたり

●能谷民團長の青波病院視察

能谷民團長は昨日午後青波病院に於て傳染病患者の狀態を視察したり

●上京憲兵隊本部を訪問

上京憲兵隊本部を訪問し昨七日歸任せり

●パリス博士

パリス博士は今回同行せられたるドレーパー氏と共に敎況視察の爲昨朝本國に向て出發せられたり

●メッセスター敎育監督

中なりし天一銀行支配人泉幹太氏は昨夜過日來安東縣に旅行歸城せられたる筈なり

▲貨物本船積卸
▲龍山行其他近海運送船に關する一般の事務
右の外仁川港仲町一丁目
福島組
（電話五三五番）
同 波戸場出張所
（電話五四二番）

岩木英夫
法律事務所 京城本町一丁目 電話六二四番
仁川新町一丁目九七番地 電話五二七番

諸官衙御用 京城明治町二丁目
印刷師 齊藤亨太郎

工學博士 藥學博士 高峰譲吉氏發見
胃腸 ヒトカ
新藥 タカヂアスターゼ

韓國一手卸元 仁川倉知商會
電話 二一三 三二〇番

味噌醤油製造
乾物荒物罐詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋 大上商店
（電話二五一番）

會席御料理並に仕出し
西小門内 横濱亭

謝近火御見舞
京城南大門外
漢城共同倉庫株式會社

謝近火御見舞
京城南大門外
濱田組京城支店

謝近火御見舞
京城南大門停車場構内
田淵商店

謝近火御見舞
京城南大門外
大谷支店

謝近火御見舞
京城南大門停車場前
高山商店

謝近火御見舞
京城南大門驛前
協同組支店

謝近火御見舞
京城南大門外御成町五十番戸
小宮山支店

謝近火御見舞
京城吉野町一番地
韓國殖産株式會社
廣瀬長康

謝近火御見舞
京城南大門前
廣内國通運株式會社
安號

昨夜當局運輸部より出火の節は早速御駈付被下候段難有奉謝候混雜の際尊名伺ひ洩も申上筈之處混雜中御尊名伺ひ洩れ等も可有之に付不取敢乍略儀以紙上御禮申上候
京城南大門外右町
濱田組京城支店

昨夜近火の節は早速御駈付被下候段難有奉謝候實は一々拜趨御禮可申上筈之處混雜中御尊名伺ひ洩れ等も可有之に付不取敢乍略儀以紙上御禮申上候
京城南大門停車場構内
エーテー田淵商店

昨夜近火之際は早速御駈付下だされ候段難有奉謝候混雜中尊名伺ひ洩も有之べく候に付き不敢取乍略儀以紙上御禮申上候敬白
京城南大門前
統監府鐵道管理局

▲龍山行其他近海運送船に關する一般の事務
右の外仁川港仲町一丁目
福島組
（電話五三五番）
同 波戸場出張所
（電話五四二番）

實用新案 空氣呼鈴
此の呼鈴は彼電氣呼鈴の如く藥品を要せざれば破損の患ひ無く道線は鉛管を用ふるものなれば地中水中に論なく布設し得且距離は能く百二十間の遠きに達すされは官衙銀行會社旅館料理店或は本宅離亭の間等に使用して誠に經濟至便の文明的要品なり乞ふ陸續御購求あらんことを

諸官用達
諸機械 軍刀及附屬品 諸金類 雜貨類
タ——二——商店
石川義夫
京城明治町一丁目

眞崎式麺類製造機械
日本九州佐賀製麺機械並に諸機械製造販賣
眞崎鐵工場

御手がる廉價を旨とし如何樣にも調理仕候
會席御料理 湖月
（京城南山町（明治町筋））

統監府各官衙御用
荷物荷造及運搬
伊藤友松
本店 營業部 曙町 本町三丁目
（電話七百三十二番）
（電話四十一番）
伊藤組

內外書籍新聞雜誌
文房具學校用品
和洋雜貨日用品
大阪朝日新聞 同毎日新聞 一ケ月四十五錢
京城本町三丁目
太平田商店
（電話百十五番）

西洋御料理宴會
日本人倶樂部
京城南山町三丁目（電話一二三番）

韓國京義線新幕停車場前
田村保吉商並ニ
電信略號（マルキ）
材木薪炭
鐵道貨物取扱運送業

京仁間往復割引

來る四月一日以降に於ける當局線旅客賃金實施と同時に京、仁間往復旅客の御便利を圖り割引往復乘車券を發賣致し候

◎發賣區間
南大門 ⇄ 仁川
西大門 ⇄ 龍山
馬橋 ⇄ 驛相互間

●割引往復賃金
一等三圓　二等二圓　三等一圓　通用期限三日間

本乘車券は往路券面着驛中の何れに下車し又は歸路何れの驛より乘車せらるゝも旅客の御隨意に有之候

明治四十一年一月　統監府鐵道管理局運輸部　電話八五二(營業課)

新築落成

龍山元町壹丁目

會席八景園

御料理

電話四六番

營業科目
活版活字鑄造
石版銅版
コロタイプ
彫刻諸印刷
諸帳簿
製本裝釘

本社　京城明治町三丁目(電話三二三番)
日韓印刷株式會社
東京出張所　東京市京橋區南鍋町一丁目十番地(電話新橋三九六二番)

一各種石炭大販賣

大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候

三池粉炭

鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應し可申候

當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚
本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦
芳雄、大辻、白岩、柚本原、岸嶽等

三井物産合名會社
京城出張所(電話二十六番)
仁川出張所(電話六十三番)

極材木、竹類、蠟燭

座敷廻り諸材料特に注意取揃あり

右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候

小森材木部

京城旭町一丁目　電話七四四番　本宅四〇五番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百七拾貳萬圓
積立及繰越金　壹百萬圓
(京城南大門通電話四二〇)

株式會社第十八銀行

京城支店
本店　長崎市榮町
支店出張所　京城、龍山、仁川、木浦、鎮州、元山、群山
韓國　釜山
日本　大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金　一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

木炭着荷

京城南大門通三丁目
英兄弟商會
電話九四八番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

本店　大阪市西區北堀江通五丁目
支店　釜山　仁川　平壤　鎮南浦　安東縣
資本金三百万圓
株式會社第五十八銀行京城支店(電話二十八番)

爲替取組先
臺灣　東京　南京　北京
滿韓　東海道　西海道　山陽道　山陽道　海陸連絡
清國　韓國　北清
所　二十七ケ所　二十三ケ所　二十五ケ所　二十三ケ所　三十三ケ所　三十三ケ所　九十ケ所

藥

藥劑師　龍山櫻町　川瀨一五郎
商號　開壽堂藥房

藥劑師　藥品賣藥　御生材料

株式會社第一銀行京城支店

本店　東京市日本橋區兜町
內地支店　大阪、京都、橫濱、神戸、名古屋、四日市
及出張所　大阪西區、東京新大阪町、伏見、兵庫、下關、
韓國支店　仁川、釜山、元山、鎮南浦、木浦、群山、
及出張所　平壤、大邱、開城、城津、咸興、馬山、鏡城
清國出張所　安東縣

電話　營業部　一一番
當直用　同　番
番號　三三一番
營業部　市原盛次郎
總支配人　副支配人　三島太平
國庫部長　副支配人　竹山純次
國庫部長　副支配人　村山雄次

國庫部　六六一番
用度係　六六二番
分拆所　六六三番

出寫專務

寫眞師　寫眞師
審美館　高原華泉
奧田星華
明治町二丁目衛戍病院前

熊平製造金庫

韓國販賣部
京城本町一丁目

竹內製金庫

東京

清火器

大阪二重瓶並ニ同轉式

熊平商店

電話六二四番

第一銀行

第二十一期營業報告

貸方　負債之部
諸預り金　五、一二〇、六二八、八二一
仕拂送金爲換手形　二二、四〇四、一一〇
借入金及再割引手形　一、四三四、一六六、九八〇
他店ヨリ借受ケ所　四五四、八五三、七五〇
資本金　三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
積立金　一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
仕拂未濟配當金　一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
當期利益金　一、〇〇七、九一四、二〇〇
合計　一〇、二七三、〇七七、三八〇
資產之部
諸貸出金及割引手形　七、〇三三、九八〇、一九〇
荷爲換手形　二四五、〇〇四、一六〇
預ケ金　二三七、七八一、三四〇
諸公債證書及諸株券　一九七、一九五、九五〇
他店ヘ貸　一八五、一六一、〇〇〇
營業用地所建物什器　二四、一五九、七〇〇
繼續勘定　〇、〇〇〇、〇〇〇
總勘定　〇、〇〇〇、〇〇〇
金銀有高　六六五、一四三、四五〇
合計　一〇、二七三、〇七七、三八一

損益勘定
借方
諸出金及割引手形　七、〇三三、九八〇、一九〇
荷爲換手形　二四五、〇〇四、一六〇
預ケ金　二三七、七八一、三四〇
諸公債證書及諸株券　一九七、一九五、九五〇
他店ヘ貸　一八五、一六一、〇〇〇
營業用地所建物什器　二四、一五九、七〇〇
繼續勘定　〇、〇〇〇、〇〇〇
總勘定　〇、〇〇〇、〇〇〇
資本金　一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
積立金　一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
當期利益金　一、〇〇七、九一四、二〇〇
合計　一〇、二七三、〇七七、三八一

株式會社第五十八銀行

取締役頭取　高橋長秋
同　副頭取　楊井佐兵衛
同　取締役　松太郎
同　富士田卯之助
同　小川爲次郎
同　森本清兵衛
同　森原太郎

新炭　松丸太

川西商店

原金旅館

本店　仁川理事廳通(電話三二番)
支店　京城南山町(電話一〇七番)

京城興信所

(業務、迅速、取扱)
興信事務及未墾地鑛山測量並設計
土地家屋斡旋
醫藥紹介
鑑定及調査
京城旭町一丁目民團役所向角

高等下宿日乃出館

京城明治町一丁目(漢城病院筋向ヘ)

弊館は設備完全にして最も閑靜なり
弊館は丁寧懇切を以て特色とす

料理店案內

京城大平町一丁目　九州樓
京城大平町一丁目　永樂亭本店
京城長谷川町二丁目　永樂亭支店
京城西小門內　南方亭同支店
京城大平町　れた福亭
京城西小門內　日の出亭
京城大平町二丁目　新あづま

日本郵船株式會社

電話十番
汽船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通　郡回漕會
京城南大門通　巴商店　電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行
相模丸　二月十五日後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
第一オハヨ號　二月七日後三時出
伊勢丸　二月十八日後三時出
高松丸　二月十一日後三時出
●大連行
伏木丸(船客不扱)二月十八日後一時出
●大連、芝罘、秦皇島行
新潟丸　二月九日未明
●大連、芝罘、秦皇島行
相模丸　二月八日前九時出
●釜山出帆、元山行
弘前丸　一月十二日

御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船附ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

齒科全般の治療

米國最新式義齒
米國齒科醫學博士　女醫　中村安子
京城本町六丁目(鍛冶屋町)

薪炭　石炭　食料品　雜貨　諸官御用達

たろし
京城長谷川町一丁目
神野商店

移轉廣告

當京城支店今般都合に依り南大門外御成町五十番戶千葉館前側に移轉仕一層業務勉勵確實可申旨を主とし迅速に御取扱可申に付御用御仰付奉願候
追而御用命の際は取次ぎ電話一二九番御呼出被成下度候
仁川驛上

通關保稅貨物取扱

小宮山通關運送本店(電話七一六)
同　支店(取次ぎ(電話一二九))

鐵道貨物取扱